

18-02-300 工事区域内除雪（平面部）

表2.2 工事区域内除雪歩掛（平面部） (1,000m2当たり)

名 称	規 格	単 位	除 雪 面 積	除 雪 深
				5cm以上～60cm以下
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準) 山積み 1.3～1.4m3(バケット)	日	2,500m2未満	0.32
			2,500m2以上	0.13
			5,000m2以下	

備考1 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、平面部除雪の場合のみ適用する。

- 2 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。
- 3 上表により難しい場合は別途考慮する。
- 4 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数（積雪深補正）をかけて積算する。（例1参照）
- 5 上表の面積条件は、1回に行う除雪面積であり、同じ箇所を1日2回行う等により総除雪面積が適用範囲外となる場合でも、1回の除雪面積が上表以内であれば適用範囲内とする。
- 6 1回の対象面積が適用範囲を超えている場合はセット数（作業班数）を増やす。（例2参照）

例1) 除雪面積が2,500m2未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、
 $80\text{cm}/60\text{cm}=1.33\cdots\cdots$ 補正係数
 除雪面積2,500m2未満のホイールローダ運転（0.32日）に補正係数（1.33）を乗じ、（0.43日）とする。

例2) 対象除雪深が40cm、施工面積6,000m2の場合
面積が適用範囲を超えているため2セットとする。
1セット目(0.13日×3(千m2)) + 2セット目(0.13日×3(千m2)) = 0.78日/6,000m2

※補正係数及び補正後の歩掛値（運転日数）は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入とする。

18-02-400 工事区域内除雪（作工物周辺・法面部）

表2.3 工事区域内除雪歩掛（作工物周辺・法面部） (1,000m2当たり)

名 称	規 格	単 位	除 雪 面 積	数 量
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準) クローラ型 山積0.80m3（平積0.60m3）	h	500m2未満	5.1
			500m2以上 1,000m2未満	3.6
			1,000m2以上 4,000m2以下	2.2

備考1 除雪深が60cm以下の除雪に適用する。

- 2 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、作工物周辺・法面部除雪の場合のみ適用する。
- 3 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。
- 4 上表により難しい場合は別途考慮する。
- 5 なお、機械除雪が困難な場合は人力除雪とする。
- 6 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数（積雪深補正）をかけて積算する。（例1参照）
- 7 上表の面積条件は、1回に行う除雪面積であり、同じ箇所を1日2回行う等により総除雪面積が適用範囲外となる場合でも、1回の除雪面積が上表以内であれば適用範囲内とする。
- 8 1回の対象面積が適用範囲を超えている場合はセット数（作業班数）を増やす。（例2参照）

例1) 除雪面積が500m2未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、 $80\text{cm}/60\text{cm}=1.33\cdots\cdots$ 補正係数
 除雪面積500m2未満のバックホウ運転時間（5.1h）に補正係数（1.33）を乗じ、（6.78h）とする。

例2) 対象除雪深が30cm、施工面積5,000m2の場合
面積が適用範囲を超えているため2セットとする。
1セット目(2.2h×2.5(千m2)) + 2セット目(2.2h×2.5(千m2)) = 11.00h/5,000m2

※補正係数及び補正後の歩掛値（運転日数時間）は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入とする。

18-02-500 工事用道路除雪

表2.4 工事用道路除雪歩掛 (1 km当たり)

名 称	規 格	単 位	施 工 延 長	除 雪 深	
				10cm～30cm以下	31cm～60cm以下
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2基準) 山積み 1.3～1.4m ³ (バケツ)	日	2 km未満	0.73	1.04
			2 km以上 6 km以下	0.20	0.26

備考1 工事用道路の除雪に適用し、現場の作業場等の除雪には適用しない。

- 2 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。
- 3 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例1・2参照)

~~4 上表の延長条件は、1回に行う除雪延長であり、同じ箇所を1日2回行う等により総除雪延長が適用範囲外となる場合でも、1回の除雪延長が上表以内であれば適用範囲内とする。~~

~~5 1回の対象延長が摘要適用範囲を超えている場合はセット数(作業班数)を増やす。(例3参照)~~

例1) 対象除雪深が70cmの場合(施工延長2 km未満)

10～30cmと31～60cmとの歩掛から、30cm積雪深が増えるごとにホイールローダの作業は0.31日増となっている。

$$\{1.04日 + 0.31日 \times (70 - 60) \div 30\} \div 1.04日 = 1.10 \dots \dots \text{補正係数}$$

10cm以上 30cm以下	31cm以上 60cm以下	差
0.73	1.04	0.31

31cm以上60cm以下の歩掛(1.04日)に補正係数(1.10)を乗じ、(1.14日/km)とする。

例2) 対象除雪深が5 cmの場合(施工延長2 km未満)

$$5 \text{ cm} \times 0.73 \text{ 日} \div 10 \text{ cm} = 0.37 \text{ 日/km}$$

例3) 対象除雪深が30cm、施工延長7 kmの場合

延長が適用範囲を超えているため2セットとする。

$$1 \text{ セット目 } (\cancel{0.73} \times 0.20 \text{ 日} \times \cancel{23.5} \text{ km} + 0.20 \text{ 日} \times \cancel{4} \text{ km}) + 2 \text{ セット目 } (\cancel{0.73} \times 0.20 \text{ 日} \times \cancel{3.5} \text{ km}) = \cancel{2.99} \times 1.4 \text{ 日/7km}$$

※補正係数及び補正後の歩掛値(運転日数)は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入とする。

18-02-600 囲い屋根部除雪

防寒囲い屋根部の50cm以上の積雪取り除きは、次表を標準とする。

表2.5 囲い屋根部除雪歩掛

(10m³当たり)

名 称	単 位	Pタイプ、Wタイプ、PWタイプ
普通作業員	人	0.41

備考 除雪量 (m³) V = A × H

A : 除雪対象面積(屋根面積) (m²)

H : 積雪深 (m)